

令和7年度 主任相談支援部会 活動報告

1) 部会内容

事務局	大和高田市
参加者	部会長/秋本（ふわら）、副部会長/矢部（青垣園）、大竹（もちつもたれつ）、鎌田（なつ）、高橋（葛城社協）、撫養（ひまわり学園）、林（愛のつどい学園）、井口（大和高田市） （順不同）
開催頻度	偶数月の第4木曜日、10：00～12：00

2) 部会の目的

主任相談支援専門員には地域における中核的な役割が求められている。その中でも主任相談支援専門員は相談支援専門員に対して、地域づくり、人材育成、困難事例への対応、権利擁護・虐待防止、などの総合的でかつ適切な利用支援そして援助技術の向上を目的とした指導や助言を行う役割が重要とされている。主任相談支援専門員が求められている役割を果たすために、主任相談支援部会では福祉サービスや自立支援協議会、地域社会資源の評価や提言、相談支援体制の整備・強化や人材育成を目的とした活動を行う。

3) 年間スケジュール、実施内容

開催日	内容
第1回（令和7年4月26日）	①令和6年度の振り返り及び令和7年度の活動内容について
第2回（令和7年6月26日）	①相談支援初任者研修の企画、②相談支援専門員を対象とした研修会の企画 ③就労選択支援事業の現状について
第3回（令和7年8月28日）	①相談支援初任者研修の企画検討 ②相談支援専門員を対象とした研修会の企画検討
10月3日	「アセスメントって何？『ad sedere』の意味と理解：1996・2006⇒2025」 立命館大学：萩原浩史氏
10月8日、10月10日	相談支援初任者研修受け入れ
第4回（令和7年10月23日）	①相談支援初任者研修受け入れ及び10月3日実施の研修会の振り返り ②地域社会資源の評価について
第5回（令和7年12月25日）	①地域社会資源の評価シートの検討について②アセスメントシートの統一について
第6回（令和8年2月26日）	①地域社会資源の評価シートの検討について②次年度の取り組みについて

4) 活動のまとめ

福祉サービスや地域社会資源の評価・提言、相談支援体制の整備・強化、人材育成を目的として今年度は計6回（プラス相談支援初任者研修の受け入れ）を実施した。前半は主に①【2回目となる相談支援初任者研修の受け入れについて昨年の反省点をふまえどのように実施していくかを検討】②【10月に実施した研修会のテーマについて、アセスメントの重要性を理解して頂くためにどのように実施していくかを検討】について時間を費やした。初任者研修では受講生が地域と繋がることを目的とし、事例に対して様々な助言を主任相談員が行い、主任相談員と受講生との繋がりを作る場となった。反省点として、GSVについての理解や受講生同士が話ができる時間を設けるなど受け入れ内容の工夫も必要である。アセスメントの研修会では、萩原先生の講義及びグループワークを踏まえ、アセスメントの目的や重要性について再認識できる機会となった。後半では地域社会資源の評価を事業種別ごとに行う中で、まずは特定相談支援事業所の評価を行うことに決まったが、どのような形式でいつから実施していくかを検討している。

主任相談支援部会として2年目を終え、達成目標に向けて継続した課題など様々あるが、各主任相談員が同じ目的や視点をもって地域の人材、資源を考えていく場は継続して必要だと考えられる。2026年度も継続して主任相談支援部会を実施し、障害福祉の活性化を図っていく。